

交通事故発生状況（令和7年5月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
全国	982	984	-2	-0.2%
管区計	110	116	-6	-5.2%
富山	9	6	+3	+50.0%
石川	10	8	+2	+25.0%
福井	8	8	0	0%
岐阜	18	20	-2	-10.0%
愛知	44	56	-12	-21.4%
三重	21	18	+3	+16.7%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			軽傷者数	重傷者数
令和7年	1,162	18	1,441	168
令和6年	1,195	20	1,465	151
増減数	-33	-2	-24	+17
増減率	-2.8%	-10.0%	-1.6%	+11.3%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年	4	1	7	3	3	—	—	—	—	—	—	—
令和6年	6	6	3	1	4	8	3	6	6	5	10	12
増減数	-2	-5	+4	+2	-1	—	—	—	—	—	—	—

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令和7年	4	2	3	7	2	0
令和6年	5	6	2	4	3	0
増減数	-1	-4	+1	+3	-1	0

(5) 年齢層別死者数

区分	子ども	高校生	若年者	25～59歳	60～64歳	高齢者
令和7年	0	0	1	3	0	14
令和6年	0	0	0	6	2	12
増減数	0	0	+1	-3	-2	+2

2 死亡事故(18件、18人)の特徴

今年の死亡事故は18件18人発生し、前年同期より2件2人減少している。岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数19位、増減数26位、増減率27位。また、人口10万人当たりの死者数は0.94人、ワースト19位。(全国平均:0.79人)
※ 人口10万人当たりの死者数は、R6.10.1現在の推計人口により算出

(1) 高齢者の死者が約8割

高齢者の死者が14人で、前年同期より2人増加し、全死者(18人)の77.7%を占め、このうち歩行者が7人と全高齢者の50.0%を占める。また、80歳以上の高齢者が10人で、全高齢者の71.4%を占める。

(2) 高齢運転者による事故が増加

高齢運転者による事故が6件で、前年同期より2件増加し、うち昼間の事故が5件、単独事故が3件である。全運転者事故(17件)の35.3%を占め、このうち80歳以上の運転者による事故が3件である。

(3) 歩行者の死者が4割強

歩行者の死者が8人で、前年同期と同数であるが、全死者の4割強を占め、このうち道路横断中歩行者が3人(うち横断歩道横断中1人)である。

(4) 死亡事故に直結するおそれの高い違反が増加

死亡事故に直結するおそれの高い違反が6件(最高速度違反3件、信号無視2件、横断歩行者妨害1件)で、前年同期より3件増加し、全事故(18件)の33.3%を占める。

(5) 飲酒関係事故が増加

飲酒運転での事故が2件で、前年同期より2件増加し、全事故の11.1%を占める。

《その他》

○ 若年運転者事故が1件で全運転者事故(17件)の5.9% [前年同期:1件・5.0%]

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。夜間は日没から日の出までをいう。運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は1人で、前年同期より1人減少している。

※ 5月末で死亡を確認したもの。

【過去10年間の死者数推移】

年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
5月末	39	44	29	35	37	17	26	26	14	20	18
年間	106	90	75	91	84	43	61	75	50	70	...